

## 〈解答〉

- ① 1 エ  
2 ①：政権 ②：朝廷  
3 ①：地券 ②：現金  
4 イ  
5 ウ  
6 ア  
7 エ

配点 ① 5は2点, 他は各1点 10点満点

## 〈解説〉

- ① 1 安政の大獄の後、井伊直弼は、弾圧に怒った水戸藩（茨城県）の浪士らによって江戸城の桜田門外で暗殺された。アの勝海舟は、江戸幕府の家臣で、幕府のアメリカへの使節を乗せた咸臨丸の艦長として使節に随行した。イの吉田松陰は、長州藩の藩士で、松下村塾を開いて、藩士の教育にあたった。安政の大獄で処刑された。ウの西郷隆盛は、薩摩藩の藩士で、薩長同盟や王政復古に努力した。明治政府の参議となったが、征韓論をめぐる政争に敗れて帰郷し、1877年、不平士族たちとともに蜂起した。これを西南戦争という。しかし、この反乱は政府軍によって鎮圧され、西南戦争を最後に、武力による士族の反乱はなくなり、言論による政治改革の動きが強まっていった。
- 2 15代将軍徳川慶喜は、幕府だけで政治を行うことは難しくなったと考え、新しい政権の中で幕府勢力の地位を確保しようとして、1867年、政権を朝廷に返上することを申し出た。これを大政奉還という。これに対して朝廷は、幕府を廃止して天皇を中心とする新政府の樹立を宣言した。これを王政復古の号令という。そして幕府の領地を取り上げ、天皇が直接政治を行うことを決めた。
- 3 地租は全国統一の租税として、政府収入の大部分を占めるようになり、政府の財政は安定した。一方、地租の総額は、江戸時代の年貢収入を下回らないように設定されていたため、農民の負担は軽くならず、地租改正反対の一揆が相次いだ。そのため政府は、1877年、地租を地価の2.5%に引き下げた。
- 4 板垣退助らは、薩摩や長州など一部の藩の出身者による政府の専制を批判し、早期に国会を開設し、人民の代表を政治に参加させることを求めて、1874年に民撰議院設立建白書を政府に提出した。憲法制定、国会開設、条約改正、地方自治の実現を通して近代的な立憲制国家を樹立することを目指した自由民権運動は、この建白書の提出をきっかけに始まった。
- 5 1875年、日本政府は、鎖国を続ける朝鮮に軍艦を派遣し、無断で沿岸を測量するなどの圧力をかけたため、江華島砲台とのあいだに砲撃戦がおこった。これを江華島事件という。日本政府はこれを理由にして、翌年、日朝修好条規を朝鮮に認めさ

せ、釜山などの3港を開港させて貿易を始めた。アの大逆事件は、1910年、社会主義者が逮捕・処刑された事件である。幸徳秋水ら社会主義者数百名を逮捕し、天皇の暗殺を計画したとして、政府は幸徳をはじめ12名を死刑にした。イの辛亥革命は、清朝を倒し、中華民国を成立させた革命である。1911年、兵士たちが武昌（現在の武漢）で反乱をおこしたことをきっかけに、多くの省が清からの独立を宣言した。翌年、南京を首都とする中華民国が成立し、孫文が臨時大総統に就任して、アジアで最初の共和国憲法を制定した。エの義和団事件は、1899年、日清戦争以後の欧米諸国の侵略に不満を持った中国の民衆が、義和団を中心に山東省で反乱をおこしたことである。

6 日清戦争で獲得した賠償金の一部を用いて、1897年に福岡県の八幡に官営の八幡製鉄所が建設された。1901年に操業を開始し、日本の重工業の発展に重要な役割を果たした。イは1872年に公布された学制の内容である。ウは1872年に太陽暦が採用された。エは殖産興業政策の一つで、1872年のできごとである。

7 日露戦争後のポーツマス条約によって、ロシアは、韓国における日本の優越権を認めた。